

## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 コンドーテック株式会社  
 コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,433	5.7	721	7.3	747	3.7	493	3.3
29年3月期第1四半期	11,767	1.8	672	0.6	720	3.0	478	6.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 540百万円 (23.6%) 29年3月期第1四半期 437百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	18.45	18.37
29年3月期第1四半期	17.84	17.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	36,194	22,956	63.3
29年3月期	36,524	22,719	62.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 22,900百万円 29年3月期 22,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		11.50		11.50	23.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,577	4.7	1,673	1.9	1,731	1.1	1,176	1.6	43.93
通期	52,550	4.2	3,611	2.7	3,719	2.9	2,524	1.1	94.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	27,957,000 株	29年3月期	27,957,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,180,171 株	29年3月期	1,180,171 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	26,776,829 株	29年3月期1Q	26,808,482 株

(注) 株式付与ESOP信託が保有する当社株式(30年3月期1Q:30,300株、29年3月期:30,300株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### (四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ関連業界におきましては、住宅投資は横ばい圏で推移し、公共投資は底堅さが増しておりますが、長引く人手不足による物件の進捗遅れは解消されず、建設需要は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材においてユーザーのニーズを的確にとらえ、付加価値の高い製品の開発と商品調達機能をさらに強化し、連結子会社との事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,433百万円(前年同期比5.7%増)と増収になりました。

利益面につきましては、仕入原価の上昇による売上総利益率の低下や、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は721百万円(同7.3%増)、経常利益は747百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は493百万円(同3.3%増)と増益になりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <産業資材>

国内建設市場は、民間・公共工事ともに堅調に推移し、建築・土木関連商材である物流荷役機器や鉄鋼二次製品、現場用品、ブレースなどの荷動きは良く、当セグメントの売上高は7,228百万円(前年同期比2.0%増)となりました。利益面につきましては、輸入商材等の仕入原価の上昇による販売価格への転嫁が進まず、売上総利益率は低下し、加えて販売費及び一般管理費の増加もあり、セグメント利益は429百万円(同8.5%減)となりました。

#### <鉄構資材>

鉄骨需要は、インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の需要の増加により、鉄構資材の主要商材である鉄骨部材やブレース、アンカーボルトなどが比較的堅調に推移し、当セグメントの売上高は3,277百万円(前年同期比20.5%増)となりました。利益面につきましては、売上総利益率はほぼ横ばいで推移し、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は287百万円(同51.3%増)となりました。

#### <電設資材>

売電価格の低下がありメガソーラーの太陽光発電設備関連の需要が減少し、当セグメントの売上高は1,927百万円(前年同期比1.9%減)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争は依然として厳しい状況にあるものの売上総利益率は横ばいで推移しましたが、販売費及び一般管理費では、創業50周年記念キャンペーン等による販売促進費の増加が主因となり、セグメント利益は7百万円(同57.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(36,524百万円)と比較して330百万円減少し、36,194百万円となりました。これは、たな卸資産等の増加があったものの、法人税等及び剰余金の配当の支払い等による現金及び預金の減少、売上債権及び繰延税金資産の減少等を主因として、流動資産が289百万円減少したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末(13,805百万円)と比較して566百万円減少し、13,238百万円となりました。これは、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が547百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(22,719百万円)と比較して236百万円増加し、22,956百万円となりました。これは、剰余金の配当308百万円の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益493百万円による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(62.1%)比、1.2ポイント改善し63.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想におきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,660,366	8,468,512
受取手形及び売掛金	12,671,719	12,063,118
電子記録債権	838,076	900,881
商品及び製品	2,811,393	3,381,224
仕掛品	207,541	220,932
原材料及び貯蔵品	338,616	349,556
その他	671,563	526,538
貸倒引当金	△7,697	△9,025
流動資産合計	26,191,580	25,901,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,562,962	2,562,925
土地	6,103,466	6,103,466
その他(純額)	883,479	855,477
有形固定資産合計	9,549,908	9,521,868
無形固定資産		
その他	57,003	54,128
無形固定資産合計	57,003	54,128
投資その他の資産		
その他	740,906	738,414
貸倒引当金	△14,509	△21,369
投資その他の資産合計	726,397	717,044
固定資産合計	10,333,309	10,293,041
資産合計	36,524,890	36,194,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,355,033	3,283,722
電子記録債務	6,438,356	6,441,033
短期借入金	500,000	540,000
未払法人税等	583,349	155,177
賞与引当金	577,250	287,684
販売促進引当金	—	16,650
その他	875,445	1,057,297
流動負債合計	12,329,436	11,781,564
固定負債		
退職給付に係る負債	1,242,691	1,224,741
その他	232,959	231,951
固定負債合計	1,475,651	1,456,693
負債合計	13,805,088	13,238,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,452,572	2,452,572
利益剰余金	19,868,122	20,053,758
自己株式	△894,279	△894,279
株主資本合計	24,092,901	24,278,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,478	213,616
繰延ヘッジ損益	△16,622	3,331
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	2,631	5,619
退職給付に係る調整累計額	△98,623	△89,525
その他の包括利益累計額合計	△1,423,988	△1,377,809
新株予約権	50,888	55,794
非支配株主持分	0	0
純資産合計	22,719,802	22,956,523
負債純資産合計	36,524,890	36,194,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,767,873	12,433,160
売上原価	9,193,564	9,741,770
売上総利益	2,574,309	2,691,390
販売費及び一般管理費	1,901,913	1,969,764
営業利益	672,395	721,625
営業外収益		
受取利息	129	162
受取配当金	1,448	1,536
仕入割引	35,458	35,846
雑収入	27,609	9,616
営業外収益合計	64,645	47,161
営業外費用		
売上割引	13,652	13,844
支払利息	242	234
雑損失	2,361	7,381
営業外費用合計	16,256	21,460
経常利益	720,785	747,326
特別利益		
固定資産売却益	—	304
特別利益合計	—	304
特別損失		
固定資産売却損	343	—
固定資産除却損	300	14
特別損失合計	643	14
税金等調整前四半期純利益	720,141	747,616
法人税、住民税及び事業税	92,703	127,627
法人税等調整額	149,253	126,070
法人税等合計	241,956	253,698
四半期純利益	478,184	493,918
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	478,184	493,918

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	478,184	493,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,783	14,138
繰延ヘッジ損益	△24,329	19,954
為替換算調整勘定	△28,621	2,988
退職給付に係る調整額	13,643	9,098
その他の包括利益合計	△41,090	46,178
四半期包括利益	437,094	540,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,094	540,097
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,083,518	2,720,639	1,963,715	11,767,873	—	11,767,873
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	87,632	15,277	21,908	124,818	△124,818	—
計	7,171,150	2,735,917	1,985,623	11,892,692	△124,818	11,767,873
セグメント利益又は損失(△)	469,414	189,993	16,781	676,188	△3,792	672,395

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,228,377	3,277,446	1,927,336	12,433,160	—	12,433,160
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	44,618	29,505	27,084	101,208	△101,208	—
計	7,272,995	3,306,952	1,954,420	12,534,369	△101,208	12,433,160
セグメント利益又は損失(△)	429,373	287,388	7,208	723,970	△2,344	721,625

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。